

メトロ・ワールド・チャイルド 第25回 オペレーション・ホリデー・ホープ！

今年のクリスマスも、多くの子どもたちに希望を届けていただくことができます！



オペレーション・ホリデー・ホープはメトロの年間最大の伝道プロジェクトで、世界各地のメトロの拠点すべてで展開されています。この誰もが心躍らせるイベントを通じ、昨年は275,000人以上の子どもとその家族が福音に触れ、子どもたちは皆、特別なクリスマスプレゼントを受け取ることができました。クリスマスのご馳走、お菓子が詰まった靴下、ラッピングされたプレゼント、暖かな防寒靴…。プレゼントの一つ一つは、「どんなにつらい境遇にあっても、世界のどこかに自分を心配して祈ってくれている人がいる」という事実を子どもたちが思い出せる、愛の象徴です。

ぜひこの活動にあなたにも参加していただきたいのです。
この2020年の活動がより効果的な働きとなりますように。



← お申込みはこちらから

または、先月号レポートの同封チラシをご確認ください。

メールアドレスのご登録を！

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパンでは、今後メール配信の活用を考えています。9月28日にケニアのキャンプ開催決定の救急告知をお送りしましたが、届きましたでしょうか？

届かなかった方は、以下の理由が考えられます。ご確認の上、ご連絡または、metrojapan@mission.or.jpからのメール受信許可設定をお願いします。

- お申し込み時に、メールアドレス記入をされなかった。
- 携帯やプロバイダーを換えてアドレスが変わった。
- 携帯の自動拒否設定に入れている。
- PCや携帯の迷惑メールフォルダに入っている。

メールアドレスご登録方法

「メール登録【お名前】」という件名で、登録ご希望のアドレスから以下のメールアドレス宛に、空メールを送信してください。



metrojapan@mission.or.jp

ケニア学用品支援！

詳細は同封のチラシをご確認ください。締切 11/25

オペレーション・ホリデー・ホープ！



1口1,500円で何件でもお申込み可能です。
締切 11/25

今月号の目次

- P2~3…ケニアから1200人のありがとう
- P3…メトロケニアを訪れて／メトロのスタッフ支援のご案内
- P4…サマーキャンプご報告
- P5…ケニア学用品支援／祈りの輪
- P6…日本事務所からのお知らせ

ケニアから 1200 人の「ありがとう」

私たち、そして子どもたちから、心を込めて…ありがとう！



ご存知のように、メロがケニアで支援している子どもたちは、かつて今も、世界一無力な社会の一員です。今年の前半、このケニアでの状況が、一刻の猶予もないと悟った私たちは、何らかの行動を起こすしかありませんでした。

それが、この「ケニア・クリティカル(緊急里親募集)」で、メロの里親制度の一環としてのキャンペーンです。すでに多くの皆さんがメロと共に歩むことを選択してくださり、子どものスポンサーになってくださいました。ここで、そのお気持ちにあらためて感謝をお伝えしたいと思います。あなたが子どもに与えているのは肉体的な栄養だけではありません。キリストの愛を行動で示しているのです。ですから、あなたにも必ず神様が報いてくださると信じています。

まもなくクリスマスです。今年も私たちはこの季節が持つ意味をしっかり意識して「オペレーション・ホリデー・ホープ」に全力を注ぎます。この季節の意味…もちろんイエス様です。あらゆる方法で福音を伝えるべきこの季節を前に、胸が高まります。

同時に、「ケニア・クリティカル(緊急里親募集)」も引き続き、2021年まで継続します。

これまでに、1,200人以上の子どもたちが新たにスポンサーに出会えました。神を賛美します！

まだスポンサーではないものの、子どものスポンサーになることを考えていらっしゃるのなら、今すぐ一歩を踏み出していただきたいと思います。子どもたちにとって今の時代は、かつてないほど、自分自身の上にキリストの愛が注がれていることを具体的に体験する必要があるのです。

すでにスポンサーとなっていていらっしゃる方は、どうか、周囲の方々に伝えてください。

メロの旅を共に歩もうという選択をしてくださってありがとうございます。あなたの愛と誠実さに、いつも感謝しています。



スポンサー申込フォーム

日本事務所へのお申込みを通してスポンサーに出会えた子どもの数

49人

(2020年7月1日から10月30日現在まで)

ありがとうございます！

METRO Kenya を訪れて

日置様のレポートは、今月号で最終回です。前月号に続き、日置様が訪れたメトロケニアの様子をお伝えします。

メトロケニアは、3人の勇気ある人たちによって始められました。3人とも、今もケニアのメトロの働きを支えています。マイキー、ピッタ、モーゼスです。彼らは皆、元ストリートチルドレンです。ピッタの話道を道中で聞いて、僕は涙が出ました。

ピッタは、物心ついた時には既に両親がおらず、路上で暮らしていました。路上で生きていくためには自警集団の一員になるしかなく、物乞いをして得たお金を、守ってくれる大人に渡して生活をしていました。「明日のことがどうなるかなんてわからなかった」と彼は言っていました。

おなか为空いてお菓子を盗もうとし、店主に見つかって熱湯をかけられたこともあります。将来ストリートギャングになるからという理由で、警察に銃を突き付けられたこともあります。友達が自分の横で車にひかれて死んだこともありました。そんな状況から逃げ出すために、彼はナイロビからトラックの背中にしがみついて、現在のメトロがあるナクルにやって来ました。食べ物が無くてお腹が空いて死にそうだったので、食べるものを探していた時に、彼はある宣教師の説教を耳にしました。

「明日がどうなるか分からない。誰にも求められていないと感じるかもしれない。でも、イエスはあなたを愛している」と。その言葉を聞いて、ピッタは、なんで僕のことを知らないのに、僕のことを分かっているんだろうと思ったそうです。そして、その宣教師のそばまで行って、自分に起こっていることを話した時に、宣教師が涙を流しながら、その土地の教会の牧師を探してくれました。そして、ある牧師の教会で生活することとなり、彼はついに救われました。そうして自分と同じような境遇の子どもたちのために、と始めたのがケニアでのメトロ・ワールド・チャイルドの前身となりました。

彼は、今でもストリートチルドレンだった時代の傷を持っています。でも彼が神様に救われて、内に熱く燃えるものがあるのは、よく分かります。

ケニアの状況は、フィリピンや他のアジアとは違う残酷さがあります。何か狂暴な印象を受けました。飢えに苦しむ人たちもたくさんいます。路上で生活している人は、フィリピンよりも多かったように思います。殺人事件も多い所です。言葉では言い表せない、何かがありました。ケニアでは、フィリピンとは違う敵と挑まないといけません。異なる霊的な必要、経済的な必要があり、スタッフみんなが祈り、賛美し、戦っていました。その中で、僕もさらに霊的に訓練を受けました。

メトロケニアは、フィリピンほどビジターの受入れを行っていないですが、本当に神様に用いられている場所です。彼らも、人と話すことが大好きなので、メトロジャパンを通して神にある日本の兄弟姉妹が、ケニアに来るのを楽しみにしていました。霊的な、直接的な支援をよろしく願っています。

せっかくのケニアなので、サファリにも行きました。ライオンを見ることはできなかったですが、人生初サファリを堪能できました！



車が近くにいるのに全く動じないシマウマ。ケニアに行けば、高速道路のすぐ横にもシマウマはいます(笑)



たまたま同じ時期に、メトロケニアでビジターになったドイツ人のダニーと一緒に。

3週間を通して、とても楽しく、祝福された時間でした。

Run-With-One メトロのスタッフ支援

詳細&お申込みはこちらから



メトロワールド・チャイルドでは、世界中からクリスチャンが集まり、基本的に無償で働き、生活を支える支援者は個別に募っています。彼らは、子どもたちを救うことに情熱を持ち、精一杯の働きをしていますが、その働きを継続することは、体力的にも、経済的にも非常に困難です。

Run-With-One(ラン・ウィズ・ワン)は、そのスタッフを支援することによって、結果的に子どもたちを助けるというご支援方法です。月々5,000円以上のご希望の金額でご支援を始めていただけます。

Summer CAMP

METRO WORLD CHILD
— 2020 —

サマーキャンプにご支援くださり ありがとうございました!

アメリカバーチャルキャンプ

今年はコロナウイルスの影響により、様々な問題を乗り越えなくてはなりませんでしたが、サマーキャンプのやり方も完全に変える必要がありました!

子どもたちの安全と健康は、もちろん最優先事項でしたが、このキャンプを子どもたち自身の個人的な体験にしたかったのです。

皆様のご支援によってサマーキャンプに登録されたすべての子どもたちは、Tシャツやキットなど、キャンプに必要なすべてが詰め合わせされた、特別なキャンプ体験ボックスを受け取りました!

子どもたちは、タブレットで共有されたバーチャル空間での賛美や礼拝、ゲームを共に楽しみました。そして、キャンプのカウンセラーやスタッフと一対一の個人的な時間も持つことができました。

CC 合成で画面に映されるスタッフたち
子どもたちも、スタッフの動きに合わせて踊ります。



キャンプ体験ボックス



現地スタッフがキャンプ体験ボックスの中身を紹介している動画を見ただけです。(英語)



オリジナルキャンプ
T シャツを受け取って
喜ぶ子ども



賛美の時間



スタッフと一対一で会話をする時間

今回のキャンプでは、子どもたちと物理的な距離はありましたが、参加できた全ての子どもたちの心の中に、神様の御言葉と共にキャンプの素晴らしい楽しさを確実に伝えることができました。

サマーキャンプにご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました! あなたは、ニューヨーク中の家庭にたくさんの喜びと楽しさ、そして笑いをもたらしてくださいました。



タブレットで配信
される映像を見ながら、手を挙げて
賛美をする
子ども

フィリピンサマーキャンプ

フィリピンサマーキャンプのためにたくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。

しかし、フィリピンでは現在も厳しい外出制限が続いており、今年はサマーキャンプの開催は難しいと判断されました。

そこで、ご了承くださった方のご支援は、食料品とおもちゃのセットに換えて子どもたちの家庭に届けられました。

スタッフ一同大変心苦しい決断となりましたが、メトロでは、スポンサーの皆様にご支援いただいている子どもの家庭に直接食料品を配っています。

ケニアサマーキャンプ

ケニアサマーキャンプのためのお申込み募集期間は、今年度は例年よりも短かったのですが、たくさんのご支援をいただきありがとうございました。

ケニアでは、ご支援によってキャンプに登録された子どもたちとキャンプを行うために急ピッチで準備が進められています。開催方法やプログラムは、コロナウイルスの影響で毎年のものとは大きく変わるとは思いますが、子どもたちにとって最高の経験が与えられることは確かです。

皆様のご支援によってキャンプに登録されていても、様々な理由でキャンプに参加できない子どももいます。その場合は、キャンプ参加費に相当する食料品セットを子どもとその家族に届けることになりました。

2021年度 ケニア学用品支援！



最新情報

2020年10月27日にネットの記事で調べた情報によりますと、ケニアでは、コロナウイルス感染拡大の影響を受けて2020年3月から学校が閉鎖されています。

多くのケニアの学校では、新年度が1月から始まり、11月学年末テストで締めくくられます。ですが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、初中等学校は2021年1月に再開させることになりました。

また、新規感染者数が減少してきたことを受け、カリキュラムを数カ月遅らせるなどして、学校が10月より再開させた地域もあるそうです。

今後も状況は変わっていくことが予想されますが、いずれにしても、ケニアの学校が再開した時に、きちんと子どもたちが通学ができる準備が必要です。

メトロが支援しているのは、ケニアの極貧地域に住む子どもたちです。今年度はコロナウイルスの影響により、これまで保護者が得ていたわずかな収入さえも、現在は工面することが難しい状況です。

子どもたちが毎日学校に通い、自分らしい人生を切り開くために必要な基礎学力を身につけられるよう、ぜひご支援をよろしくお願い致します。ケニアの子どものスポンサーでない方からも、支援献金を受け付けております。

ノート、バインダー、フォルダー、鉛筆、ペン、定規、クレヨンなどが入った学用品Aセットをはじめ、様々なセットを用意しています。同封のお申込用紙をご覧の上、お申し込みください。



締切

11月25日(水)



祈りの輪



あなたの祈りは確実に変化をもたらします！
どうか共に祈ってください…

- このコロナ禍にあって、世界中の子どもたちとその家族、働き人たちの健康と安全が守られるように
- 食事、避難所、親たちの就労の機会、その他さまざまな基本的なニーズのために神様が働いてくださるように
- この厳しい状況の中でもメトロの働きが続けられ効果が発揮できるように
- さまざまな環境で人々に仕える中で、新たな扉が開かれ働きを継続するための創造的な道が拓かれるように
- 神様がビル師に強い力を与え、その言葉に油を注ぎ、安全に守ってくださるように

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！子どもと皆様を守るために

子どもに手紙を送る際は、子どもに渡る封筒や手紙の中に、ご自分の苗字と住んでいる地域名を、記入しないようお願いいたします。

- (例) × Hi ! I'm Taro Yamada. I'm live in Tokyo.
× こんにちは。山田太郎です。東京に住んでいます。
○ Hi ! I'm Taro. I'm live in Japan.
○ こんにちは。太郎です。日本に住んでいます。

必要以上の情報は悪用されたり、ネットで探し出されたりします。皆様の安全のために、友だち申請などメトロを通さない連絡には返事をしないでください。メトロでは、長年にわたる様々な経験により、子どもとスポンサーの方々双方にとって最善の対応を心がけています。

手紙の翻訳について

お送りしています子どもからの手紙は、本部から送られてきたものを、間違いがないかチェックした上で皆様にお送りしています。

現在、基本的には個人からの手紙やカードに翻訳をつけておりません。ご希望の方は、写メやFAX などご希望の言語(日本語と韓国語)と共にお知らせいただきましたら、翻訳してお送りします。本来は、すべて翻訳してお送りすべきところですが、メトロの働きはすべてボランティアの協力で行っておりますので、手が行き届かず申し訳ございません。

毎回翻訳をご希望の場合もお知らせください。次回からは訳を同封してお送りします。日本語と韓国語のみご対応できます。

クリスマスプレゼント！

ご自分のサポートしているアメリカ、またはフィリピンの子どもへのクリスマスプレゼントを募集しています。

また、世界中でメトロが開催するクリスマスの教会学校に参加した子ども全員にプレゼントを渡すオペレーション・ホリデー・ホープ (OHH) へのご支援も募集中です。

詳細は、先月号のレポートに同封されたチラシをご確認ください。ホームページからのお申込みも可能です。



お申込み締切

締切間近！

- 11月10日：フィリピン クリスマスプレゼント
11月27日：アメリカ クリスマスプレゼント
11月25日：オペレーション・ホリデー・ホープ

日本事務所よりごあいさつ！

朝晩冷え込んできましたが、皆様お元気でしょうか？

あっという間に11月を迎えました。今年は特に早く感じていらっしゃる方も多いでしょう。コロナのことで、私たちはたくさんことを学びました。また、コロナ中心の生活を余儀なくされました。しかしここからは、今までの体験を生かして、新しい一歩を踏み出しましょう。

クリスマスの準備を始めつつ、今年は特に主イエス・キリストの救いと希望が輝きを増すことを実感しています。永遠に変わらない神が共にいてくださるといふ、主にある人生の本物の平安をお伝えし、ひとりでも多くの方がイエス・キリストの救いを手にしていただきたいと願います。

皆様の心と健康が守られ、経済が祝福されますように。そして、主と共に歩む人生の喜びを、日々実感できますようにとお祈りいたします。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061
東京都中央区銀座 4-5-1
教文館 6階 TFC内
電話 03-3561-0174
FAX 089-925-1501
メール metrojapan@mission.or.jp
URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。
ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610
郵便局：記号番号 01650-3-41610
口座名義はどちらも同じ
メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン